

ながと

しごかいだより

6月定例会号 NO.43

平成28年8月1日発行



ていれいかいごう

INDEX

- ・ 6月定例会②～③
- ・ 一般質問④～⑨
- ・ 議会改革について⑩～⑪

6月定例会 / 議案

補正予算など

議案 13 件を可決・承認

6月定例会は平成28年6月10日(金)から平成28年7月1日(金)までの22日間の会期で開催しました。

今定例会では一般会計の補正予算案をはじめ、条例改正の執行部提出13件、報告5件を受け全て可決・承認しました。

議案第1号

平成28年度 長門市一般会計補正予算 (第1号)

総額 2億 1,073 万円増額補正

雇用創出・経済の活性化にまい進！

企業立地促進事業 1億 7,857 万円

地域の雇用創出と経済の活性化を図るため、三隅地区において工場誘致に必要な用地の整備を行うものです。長門市では「まち・ひと・しごと創生総合戦略」において企業立地に積極的に取り組むこととしており、長門市企業立地促進条例も制定しています。

三隅に工場を有する(株)アルミネは、以前から全国的に新工場の用地を探しており、長門市では現三隅工場が創業して40年になる実績と将来的な可能性から新工場用地に関する検討を行っています。その中で、現三隅工場との連携、必要な面積、工場立地に関する適地性等から、川を挟んだ一帯の土地を適地としました。この土地は元来埋立地であり、面積も広大であることから、用地の造成が必要となりますが、幸いにも長門・俵山道路で平成28・29年度に、3つのトンネル工事があり、大量の建設残土が発生することから、造成費を大幅に抑制することができるため、この残土を活用して用地整備を行うものです。この間、地権者の土地売却の意向をうかがい、今後交渉をすることについて概ね合意を得たとのことでした。

また5月に長門市、(株)アルミネ、県の3者による確認書が交わされ、その内容は「(株)アルミネが

新工場を建設すること」「長門市が工場用地を造成すること」「(株)アルミネが工場用地を購入すること」となっています。

予算決算常任委員会では、委員から「総事業費及び、造成費用の額は。また、長門俵山道路の残土を使用することでの抑制額は」との質疑があり、執行部から「総事業費は約5億5,000万円であり、そのうち造成費用は1億3,000万円。造成に必要な土砂の量は約20万立方メートルだが、通常の公共事業でこれを購入すると約6億円となるため、この費用が抑制される」との答弁がありました。さらに委員から「進出協定はいつ結ばれるのか。また、公害防止協定は結ぶのか」との質疑があり、「進出協定の締結の時期は未定だが、早めに結びたいと考えている。公害防止協定についても結ぶこととしている」との答弁がありました。雇用について委員から「新規雇用者が65人ということだが、現状は3分の2以上が外国人労働者であり、地域における雇用に結びついていない。要因は何か」という質疑があり「給与的には地域の水準の中で考えると良いレベルにあると聞いているが、製造工程での仕事がきついということで、なかなか地元雇用に繋がっていないと聞いている」との答弁がありました。

放課後児童対策事業

516万円

深川及び仙崎児童クラブにおいて、定員を大幅に超える申し込みがあり、申し込みの受け入れに対応するため指導員を増員するとともに必要な経費を追加するものです。

予算決算常任委員会では委員から「昨年・本年と続き、定員をかなり超えた応募があるが、その要因と対応は」との質疑があり、執行部から「対象者を小学校6年生まで拡大したことにより、特に深川地区や仙崎地区の希望者が増加した。今後は公共施設の空部屋や学校近くで新たな場所を探し、希望者全員の受け入れ対策を行っていく」との答弁がありました。

さらに委員から「児童クラブで働くパート職の採用条件と確保対策は」と質疑があり、執行部から「採用条件としては、資格の有無にかかわらず採用しているが、山口県が実施している指導員研修を受講し、子育て支援に興味のある方や経験のある方などを採用している。パート職員の確保については、事前に履歴書を提出された中から採用している」との答弁がありました。



村田清風旧宅茅葺屋根補修事業

116万円

中央公民館屋上補修事業

410万円

4月16日の強風により破損した村田清風旧宅屋根及び中央公民館屋上の防水シートの補修工事を行うものです。

議案第13号

長門市長等の給与に関する条例の一部を改正する条例

市長・副市長給与を減額

この改正は、市が車検切れ公用車の運行の件を重く受け止め、組織の総括責任者としての責任を明確にするため、市長と副市長の7月分の給料月額を5%減額する改正を行うものです。過去に、消防団車両の車検切れが発覚し、今回同様の事態が発生したことから、組織として管理体制の緩みがあったとし、庁用自動車の総括管理者で安全運転管理者である総務課長を、懲戒処分である戒告とし、その他関係者についても、担当係長及び担当職員を文書訓告、企画総務部長、総務課長補佐には口頭訓告の処分を行っています。

6月定例会議決結果

議案番号	件名	結果
1	平成28年度長門市一般会計補正予算(第1号)	原案可決
2	平成28年度長門市国民健康保険事業特別会計補正予算(第1号)	原案可決
3	長門市行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づく個人番号の利用及び特定個人情報提供に関する条例の一部を改正する条例	原案可決
4	長門市の議会の議員及び長の選挙における選挙運動費用の公費負担に関する条例の一部を改正する条例	原案可決
5	長門市報酬及び費用弁償条例の一部を改正する条例	原案可決
6	長門市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例	原案可決
7	長門市指定地域密着型サービスの事業の人員、設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例	原案可決
8	長門市指定地域密着型介護予防サービスの事業の人員、設備及び運営並びに指定地域密着型介護予防サービスに係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準を定める条例の一部を改正する条例	原案可決

議案番号	件名	結果
9	豊浦・大津環境浄化組合規約の変更について	原案可決
10	専決処分の承認について(長門市固定資産評価審査委員会条例の一部を改正する条例の一部を改正する条例)	承認
11	専決処分の承認について(長門市税条例等の一部を改正する条例)	承認
12	専決処分の承認について(長門市都市計画税条例の一部を改正する条例)	承認
13	長門市長等の給与に関する条例の一部を改正する条例	原案可決
報告1	平成27年度長門市一般会計予算に係る繰越明許費繰越計算書の報告について	-
報告2	平成27年度長門市公共下水道事業特別会計予算に係る繰越明許費繰越計算書の報告について	-
報告3	平成27年度長門市農業集落排水事業特別会計予算に係る繰越明許費繰越計算書の報告について	-
報告4	平成27年度長門市水道事業会計予算に係る建設改良費繰越計算書の報告について	-
報告5	公益財団法人長門市文化振興財団の経営状況について	-

一般質問

一般質問は市政に関して議員が質問を行い、新たな施策の提案や、市政に対しての意見や要望を述べ、市政をより良い方向へ導くものです。6月定例会では12人の議員が一般質問を行いました。



田村 哲郎 議員

○介護保険制度の充実を

問▶ 団塊の世代が75歳を迎える「2025年問題」をどう捉えているか。

答▶ 平成37(2025)年には、本市の高齢化率は43.3%になり、およそ2人に1人が65歳以上、4人に1人が75歳以上になる見込み。単身や高齢夫婦のみの世帯増加に加え認知症高齢者の方も増加する。これらに対応するため地域包括支援センターを中心に「地域包括ケアシステム」を構築していく。

問▶ 地域包括支援センターの現状の人員配置や企画立案体制では、2025年問題に対応できないのではないかと。

答▶ 確かに日々の業務に追われて企画立案能力が保たれているとは言えない面もあるので、検討していく。

問▶ 今後の介護保険の充実に向け、介護される方の支援はもちろんだが、在宅で介護する方の支援を充実させる必要があるのではないかと。

答▶ 介護者への支援も在宅介護を支える重要なカギと考えている。家族介護者の視点に立ったサービスの掘り起こしをしていきたい。

問▶ 県の調査によれば、市内の特養待機者はH26年度419人で、そのうち在宅かつ要介護3～5の方は104人。この104人のうち、早急に入所できるための個別の実態調査等はできているのか。

答▶ 104人について詳細な実態はつかめていない。本当に入所を必要としている方が何人いるかを把握する必要がある。施設サービス利用者が置かれている現状は市として独自に把握していきたい。



地域包括支援センター



南野 信郎 議員

○道の駅建設の進捗状況は

問▶ 道の駅建設にあたり、現在までの進捗状況はどうなっているのか。また、今後の課題は何か。

答▶ ながと物産合同会社や設計業者などで構成するプロジェクト会議において、整備・運営方針案を作成し、現在その案について「道の駅整備・運営検討会」の農業・水産・商業観光の3つの部会において検討しているところであり、整備事業全体の進捗状況としては予定どおり順調に進んでいると考えている。また、今後の課題として鮮度の良い農水産物の安定供給体制、いわゆる品揃えが最も重要な課題であると考えている。

問▶ 道の駅において販売する商品の安定的な供給体制について、具体的にどう考えているのか。

答▶ 集荷体制については、基本的に出荷者自らが商品を持ち込み、値決めをすることとし、登録さえすれば誰でも出荷できる仕組みを考えている。また、販売方法については、原則として委託販売方式で行う。充実した品揃えを目指すなどクリアしなければならない課題はいろいろあるが、生産者のコンセンサスが得られるよう今後も意見交換しながら安定供給体制の構築に努力していく。

問▶ 道の駅建設にあたり、これから公募されるテナント業者において、すべてを公募で決めるのではなく、目玉となる店舗を誘致すべきだと思いがいかか。

答▶ 基本的にはテナント業者は、これから公募により決める予定ではあるが、そういう要望があればぜひ検討してみたい。



青海島シーサイドスクエア



大草博輝 議員

○観光にどう生かす
民間の力

問▶ 地域創生を進める上で、長門市は観光が成長戦略の核と考える。28年度には観光基本計画を策定するが、今日までの観光基本計画をどの様に評価しているか。

答▶ 着地型観光を進めるため様々な主体が行う観光事業や活動情報の一元化・調整をするため観光コンベンション協会が設立された。観光基本計画に基づき、様々な事業を展開したが、目標値としている観光客や宿泊客増には至っていない。

問▶ 市は、観光コンベンション協会に補助金を出しているが実績が上がっていない。こうした現状をどう考えるか。

答▶ 観光コンベンション協会は、体験教育旅行や着地型観光など地域資産を生かす事業を展開されている。自主財源の確保に取り組むとともに、市の観光のワンストップ窓口として機能を強化されようとしている。

問▶ 本来、観光は事業者や観光団体、民間が進めるべきと思う。しかし、観光コンベンション協会の補助金のあり方や白木屋グランドホテル跡地の問題など主体的に取り組むと言うより行政主導で進んでいるのではないか。

答▶ 観光は、交流人口の拡大により、地域経済への波及効果が大きいと考える。観光コンベンション協会への人件費の支援や事業費の支援、また白木屋グランドホテルの解体整備など行政からの資金造成により事業を進めてきた。民間主導のもと行政が支援していくことが望ましいと思うが、現下では厳しい状況にある。



観光コンベンション協会



岩藤睦子 議員

○安心して預けられる
保育環境を

問▶ 東深川保育園が、平成29年度に廃園との計画が示されたが、いつどのような理由で決まったのか。

答▶ 本年3月、公共施設等総合管理計画及び同計画第一次アクションプランを策定し、建築後40年以上経過した老朽化が著しい施設については、民間活力を利用した運営も含め検討してきた。この中で東深川保育園は、施設の老朽化、狭小な敷地面積などの理由から災害時等において、園児の安全確保に支障を来すおそれがあり、その対応として地区内の民間施設で、園児の受け入れが可能であるとの判断から、平成29年度末の廃止を計画した。

問▶ 今後2年間でどのように受け入れ体制等を整えていくのか。

答▶ 保育・教育施設を運営される民間事業者の協力を得ながら、できるだけ早いうちに園児の受け入れ先を具体的に示し、保護者の理解を得ていきたい。

問▶ 受け皿となる2施設が認定こども園となったが、認定こども園のメリット、デメリットをどう考えているのか。

答▶ メリットは保護者の就労にかかわらず施設を利用できることと、教育標準時間を一緒に過ごすことから、子ども達がより豊かに育っていけると考える。デメリットは、通園時間が長くなる方が出てくると考える。

問▶ 様々な課題解決のためにも、小規模な公立の保育教育施設を認定こども園に移行してはどうか。

答▶ しっかりとした受け入れ体制を作るためにも研究していく。



廃園の計画がある東深川保育園

一般質問



三輪 徹 議員

○今こそプレミアム付き商品券の発行を

問▶ 安倍首相が平成 29 年 4 月に予定していた消費税の引き上げを、2 年半延期することを表明した。引き上げに伴う駆け込み需要が見込めなくなった今こそ、市内の消費を喚起するプレミアム付き商品券の発行を補助すべきであると考えますが、市長の見解を伺う。

答▶ 長門商工会議所から、現下の厳しい市内経済情勢を踏まえ、プレミアム付商品券発行事業への支援の要望を再度いただいているが、国の財源を活用するという方針から、国の補正予算等の動向を注視しながら、今後の対応を検討していきたい。

問▶ 利用者アンケートの結果によると、予算に対して約 4.6 倍の投資効果があったと長門商工会議所は公式に報告をしている。この事業では購買意欲がある消費者の商品券購入が前提となっているため、確実に消費につながると考えられる。今は消費者の背中を押してあげる政策が必要であり、市外やネットショッピングに流れるお金が市内に回るよう、緊急的な政策をとるべきではないか。

答▶ プレミアム付き商品券の発行事業については、一時的な消費喚起の効果はあるが、カンフル剤的なようなものであり、これを毎年続けるということが本当に商店等の強化につながっていくのか、様々な疑問がある。長門の創生総合戦略の中にも示しているように、外貨の獲得とサプライチェーンの域内化の実現をしっかりと果たしながら、外貨を稼ぐと同時に、お金を外に出さない仕組みをつくっていくことが重要だと思っている。商工会議所からの要望書については、しっかりと検討するとともに商品券がもたらす効果について、さらに研究をしていきたい。



地域経済の活性化が課題



林 哲也 議員

○財政状況を考慮し
公共事業の見直しを

○市民協働による
公共施設の維持管理を

問▶ 平成 27 年度の長門市中期財政見通し（平成 27～31 年度の 5 年間）によれば、「歳入面では一般財源の伸びが見込めない一方、歳出面では、少子高齢化社会の進展による扶助費や介護・後期高齢者医療各会計繰出金の増、仙崎地区での道の駅整備や市役所本庁舎建替えなどの投資的経費の増が見込まれており、今後もそうした状況を見据えて財政運営をおこなう必要がある」としているが、具体的にどう取り組んでいくのか。

答▶ これから仙崎地区交流拠点施設整備事業や庁舎建設事業といった大型事業を実施することにより、市債残高は増加する見込みではあるが、真に必要な行政サービスの「選択と集中」を図り、市債の発行についても、将来負担を勘案した上で、交付税措置の手厚い合併特例債や 過疎債を活用することとしている。

問▶ 48 億円の庁舎建設については本市の置かれた財政状況等を考慮し、あらゆる段階において事業費縮減に向けた方策を探求していくべきだと考えるが、事業計画、事業費を見直す考えはあるのか。

答▶ 事業費の縮減については、設計業者にも厳しく言っており、いかに事業費を抑えていくのか、担当部署には見直しをかけるように指示している。

問▶ 行政の下請け、あるいは丸投げではなく、お互いの役割と責任を自覚して、対等な立場で公共施設の新たな管理運営の手法を考えるべきではないか。

答▶ まちづくりにおいて民間の力は大きな要素であり、行政と市民団体との役割分担について、協議の場を研究していきたい。



現在の長門市役所本庁舎



吉津 弘之 議員

○少子化に歯止めを

問▶人口減少社会に突入し、本市においても既に深刻な問題となっている。少子化対策に積極的に取り組む必要があると思うが、現状と今後の対応についてどのように考えているのか。

答▶急激な人口減少の時期が到来しており、類を見ない速さで少子高齢化が進んでいる。こうした状況を踏まえ、保護者から必要とされる少子化対策について積極的に取り組み、総合的な視点と危機感を持って、各種施策に取り組む事で子育て世帯に選ばれるまちを目指していきたい。

問▶世帯年収360万円未満で、子どもが3人以上いる家庭への支援策として、28年度から3人目以降の子どもの保育料を無料化することになったが市独自で上乗せをしてより多くの多子世帯の負担軽減を図ってみてはどうか。

答▶本市ではこれまでも全ての子どもたちにとって、よりよい子育て環境の構築を目指し取り組んできたところであり、乳幼児医療の所得制限撤廃等様々な支援策に取り組んできた、今後も引き続き同様の考えのもと、取り組んでいきたい。

問▶多子世帯に対する支援について、保育料以外の補助や支援策は他には考えられないのか。

答▶長門市に住めば安心して子育てができると思っただけのような環境を整えていくことが、最も必要であると考えている。国や県の制度と歩調を合わせ、全ての子どもを対象とした様々な事業に積極的に取り組んできたが、本市では今後も引き続き、全ての子どもを対象としたサービスの提供を行っていききたい。



登校する子どもたち



先野 正宏 議員

○観光地のトイレにもおもてなしの心を

○利用者ニーズに合わせた子育て支援策を

問▶市で管理している観光地のトイレの設備等にはおもてなしの心が感じられない。今後の方針についてどう考えているのか。

答▶平成20年以降、観光地として大寧寺、仙崎王子山、公共交通機関利用施設として渋木駅、人丸駅などの改修を実施してきたが、依然としてくみ取り式トイレや老朽化した施設があるため、利用者の満足度は十分ではないと思われる。改修計画を立てて実施していくとともに、県の設置施設については、これまで以上に強く改善の要望をしていきたい。

問▶長門市駅のトイレは段差が18センチもあり、車椅子も入れない。観光のおもてなしの観点から対応について考えて欲しいがどうか。

答▶長門市の観光の玄関として、早急に改修できるよう関係機関と交渉していきたい。

問▶市内から高校へ通学する生徒の通学定期券代が高いとの話があるが、市としては現在行っているひとり親家庭への支援の範囲を拡充する考えはないか。

答▶本年度実施予定の子どもの貧困に関するアンケート調査の結果を踏まえ検討していきたい。

問▶東深川保育園の廃園について28年5月に説明会、29年度末に廃園、30年度に解体との方針だが、進め方が急すぎるのではないか。

答▶保護者の意見をしっかりと聞き、適切に対応していきたい。市としては、29年度末廃園に向けて、ご理解を得る努力をしていきたい。29年度末廃園ありきというような形で押し切るというようなことではない。



長門市駅のトイレ

一般質問



武田 新二 議員

- 工場用地造成計画に伴う交通安全対策は
- 星野リゾートとどう関わっていくのか

問▶三隅殿村新開地区に工場用地を造成する計画がある。造成工事の時や、完成後は大型車両が頻繁に通ることが予想される。歩行者や自転車利用者の安全をどのように確保するのか。

答▶交差点など交通安全対策を図る必要のある箇所には誘導員を置くことにしている。また、市営住宅や小学校、スーパーなども近くにあるので、造成期間中の交通安全対策には万全の配慮をしたい。完成後の歩道等、交通安全対策施設の設置等についても、今後、県などの関係機関と協議検討していく。

問▶通学路としても危険な道路であり、以前から改善要望が出されている小浜の交差点から287号線、沢江地区の県道については何らかの改善策が必要と考えるが、どのように考えているのか。

答▶沢江地区の県道については、歩道の必要性を感じており、道路管理者である山口県へ歩道設置の要望を行っている。今後も県と、整備内容・手法について、協議・調整を進めていきたいと考えている。

問▶星野リゾートに委託したマスタープランによれば、恩湯の改築等多額の予算を伴うと予想されるが、今後の星野リゾートとどう関わっていくのか。

答▶6月の最終報告を受けて、8月に市としてまちづくり計画を作成するが、星野リゾートとの役割分担については、その中で記述する方向で調整をする。一気にプランの事業をすることはできないので第一、第二、第三フェーズという形で期間を決めて順序立てた整備をしていく。これから星野リゾートと協議をし、互いに侃々諤々知恵を出し合いながら今後の将来を見据えて活性化を考えていく。



マスタープラン報告会のようす



末永 卓也 議員

- キャンプ地誘致の成功を

問▶ラグビーワールドカップ2019組織委員会から「公認チームキャンプ地に関するガイドライン」が発表されたが、今後の取り組みの方向性と招致決定に至るまでの計画はどうなっているのか。

答▶ガイドラインでは、本年8月1日から公認チームキャンプ地の応募受付が開始されるが、申請期限である12月22日までに、申請書をしっかりと整備し、市民をはじめ、地域や活動団体、企業、そして行政が一体となり、組織委員会や競技団体、山口県と連携し、成功に至るよう今後とも、「チームなご」との取り組みを進めていく。

問▶公認チームキャンプ地ではなく、滞在期間の制限のない事前チームキャンプ地の招致についてどう考えているのか。

答▶事前チームキャンプの招致については、全国各地の自治体と条件面での競争になり費用負担も必要となる。また、公認チームキャンプ地との兼ね合いで事前交渉の禁止など課題が多いが、事前チームキャンプのメリットは十分理解しているので、しっかり情報を収集し、チャンスがあれば検討していく。

問▶本年1月に市長が村岡県知事とニュージーランド大使館を訪問された事が報道されていたが、その際の内容や感触、手応え、招致の可能性についてどの様に感じているのか。

答▶ニュージーランド代表が一番人気のチームで、多くの自治体からも同様の話があると聞いている。また、選手が移動慣れしているチーム事情から事前キャンプを行う可能性も低く、本市への招致の可能性は厳しいが、チャンスがある限り対応していきたい。



俵山スパスタジアム



田村 大治郎 議員

○観光施策への取り組みは

問▶観光地周辺にある案内看板及びトイレや売店などの施設の現状と、今後の整備の方針についてどう考えているのか。

答▶観光案内看板については平成23年からの3年間で合わせて27カ所の整備を行い、英語表記のウエルカム看板4基も整備した。トイレの整備については、まだまだ整備が必要な個所も多いと認識している。青海島自然研究路などの景観保全については、年間委託や随時委託により管理している。

問▶第1回目の開催となった「青海島千本桜まつり」や、元乃隅稲成神社のゴールデンウィーク期間中の対応などについてどのように検証しているか。

答▶今後も桜まつりを通じて、青海島の活性化と観光客の集客に向けた大きな流れが生まれることを期待している。元乃隅稲成神社のゴールデンウィーク中の対応については、駐車場の増設と臨時駐車場の確保、更に仮設トイレを設置したほか、警備体制強化、無料のジャンボタクシー運行等の対応を行った。今後はお盆、お正月を中心に警備員の増員配置を予定している。イベント、情報の発信をなお一層強化するとともに、これらとのタイアップで宿泊客の増加につながるよう関係機関に働きかけていきたい。

問▶観光戦略推進会議の権限の範囲と人材の活用についてどのように考えるか。

答▶観光戦略推進会議では、次年度の予算編成に間に合わせるよう審議を進めていきたい。また、公募委員へ応募された方々に発言や活動できる場を広く提供していくことが、各分野におけるキーパーソンなど新たな人づくりにつながるものと考えている。



青海島千本桜まつり



重村 法弘 議員

○「ながと創生」に向けた農業分野の取り組みは

問▶「ながと創生」に向けた各種取り組みが推進されているが、農業分野における振興をどう図ろうとしているのか。

答▶「ながと成長戦略行動計画」策定後、一市一農場構想における「農地集積バンク」を立ち上げ、担い手への農地集積を加速させるとともに、新規法人組織の設立、新規就農者を雇用する法人への支援を拡充するなどの取り組みを進めている。

問▶農地集積を進めていく上での、今後の課題は何か。

答▶農地集積は順調に進んでいるが、農地の受け手となる者の経営の安定と所得向上に向けたさらなる取り組みが必要と考えている。また、優良農地の耕作放棄防止を目的として第三セクター方式での「長門市農業振興公社（仮）」の設立も関係団体と検討を進めている。

問▶高齢化、後継者不足が懸念される畜産分野の現状と課題は何か。

答▶県内有数の畜産の産地であり、「長州ながと和牛のブランド化」や「長州黒かしわのブランド力向上」を掲げ、飼養頭数の増加への支援を行ってきた。しかし、和牛部門においては、農家の高齢化や後継者不足等の要因から、農家戸数、飼養頭数ともに減少傾向にある。

問▶減少傾向にある、和牛部門への対策はどう考えているのか。

答▶今後は法人組織での畜産への参画や、設立する公社においても畜産部門の設置を考えてみたい。



後継者不足が課題となっている畜産業



市民に開かれた 議会を目指して

議会改革のこれまでのあゆみ - Reform of a city council -

6月定例会では、議会改革特別委員会から調査中の事項について、中間報告が行われました。

平成27年5月7日に開かれた第2回臨時会において、これまでの議会改革の取り組みをさらに進展させるため、新たに議長を除く議員全員を構成員とする議会改革特別委員会が設置されました。委員会は「市民に開かれた議会」「市民のために行動する議会」「市民から信頼される議会」を議会改革の基本理念に据え、調査研究を進めています。

具体的な取り組みとして、昨年に続いて議会報告会を実施しています。また、常任委員会単位で各種団体等との意見交換会も行っています。

さらに議会や議員の活動原則を明文化した議会基本条例については、県内視察をはじめ、情報の収集・

調査を実施するとともに、議会報告会など、これまでの実践を踏まえ、条例案を作成しています。今後の予定としては、条例案に対するパブリックコメント等を行い、委員会での全体協議を通じて条例案を練り上げた上で、議会運営委員会での調整を経て、9月定例会において議案上程を考えています。

情報公開については、議会だよりの発行や、ほっちゃんテレビでの本会議中継、フェイスブックでの議会活動のお知らせをしています。また、県内の議会に先駆けタブレット端末機を導入し、事務効率の観点からペーパーレス化の取り組みを進めています。

なお、ほっちゃんテレビでの委員会の中継、インターネットでの配信の他、公開すべき情報についても引き続き調査研究を行ってまいります。

議会報告会レポート - Report -

長門市議会は、5月10日から19日にかけて市内5会場で、第4回目となる議会報告会を実施しました。平成28年度当初予算の審査状況を報告したのち、それぞれの地域の諸課題、併せて議会への要望など意見交換を行ったものです。

報告会で寄せられた質問やご意見と、その答弁を一部、テーマごとに紹介します。

下水道

■公共下水道の使用料金が9月から統一されると聞かれますが、加入負担金も違い、納得いかないがどうか。

使用料を統一にする過程は3段階の改定を経て今回統一となるが、公共料金の観点からもご理解いただきたい。接続時の負担金については今後議論が必要と思っている。

■昨年も言ったが、公共下水道と合併処理浄化槽での年間コストは随分違う、本管を埋設するのは無理な地区と認識しているがどうなのか。

この問題は軽視をしていない。公共用水域の汚染を防ぐことは重要であり、感じられている不公平感の解消に向けて今後も議論を重ねていきたい。

施設・道路

■ふれあいパーク三隅のグラウンドの施設が荒れていて、県大会等が実施できないが、どうにかならないか。

維持管理が難しいと、要望書・提案書も提出されていると聞いている。使用団体やボランティアだけでは限界があるので担当課で精査してもらい、今後、予算措置ができるものはするように要望していきたい。

■三隅二条窪から渋木に抜ける県道の工事が進まないがどうか。

ルートが難しいと聞いている、ルートの検討中だと思われるが今後も要望していきたい。



三隅宗頭文化センターで開催された議会報告会のようす（5月17日）

庁舎建設

■予定されている5階建ての新庁舎は、木造建築と聞いているが、純木造では不可能と思われる。どのような工法なのか。

外壁や強度の必要な部分をRC造、内部を木造で作る工法と聞いている。

■使用する木材の調達は、県内産なのか、

木材の調達は市有林などの市内産木材を100%使用することを目指していると聞いている。

■本庁舎建設について、熊本地震のこともあり、耐震化等も含め早期に取り組む必要があると思うが、なぜ遅くなったのか。

他の公共施設（学校など）を優先し耐震化を進めてきたため、この時期になったと聞いている。28年度、設計業務に入る。

その他

■デマンド交通について今は最寄りの駅、バス停までの運行を中心に考えているようだが、今後は中心市街地への運行を考えてもらえないだろうか。

29年度から5カ年で公共交通体系の見直しを行政は行うこととしている。課題、問題は様々出てくると思うが、所管の委員会でもこうしたご意見をもとに、今後の事業に反映できるようにしていきたい。

捕獲したイノシシ等の助成金は高くなったが、手続きの簡素化はどうにかならないのか。

一般質問でも取り上げられたこともあるが、今後担当課とよく話をしたい。

■防災行政無線のチャイムが聞こえない。元のモーター式サイレンに戻してもらえないか、行政に相談したが、なかなか話が進まない。

他の地区でも同様の意見が出されている、この件はぜひ持ち帰り報告したい。また、議会として重く受け止め、希望に添えるよう対応していきたい。

■子育て支援として高校生の通学費用の一部補助はできないか

義務教育までは子育て支援として色々な施策を講じているが、高校生に関しては、県に頼っているのが現状である。しかし、本当の意味での子育て支援を充実させるためにも考える必要があると思うので、今後、提案をしていきたい。

■住宅改修費の補助事業について、一割の補助が実施されているが、商品券で対応されている。改善はできないのか。

利用者にとっては現金支給を望まれると思うが、現金となると市外に出ていく可能性は高くなる。皆さんの租税を担保に、この事業は実施されているので、地域に還流していくことが望ましい。今後は使い勝手、加盟店の数など検討していくことが必要と考えている。

■議員定数の削減はどのように考えているのか

平成17年の合併時30名、21年に20名、25年に18名の定数削減の経緯がある。任期1年を切った現段階では定数削減に関しては無理と考えている。

つぎのぞかい 9月定例会の予定

9月2日	議案の提案説明など
9月6・7・8日	一般質問
9月9日	一部採決、議案の委員会付託
9月13日	予算決算委員会
9月14日	総務民生委員会
9月15日	文教産業委員会
9月23日	最終日

(都合により変更になる場合があります)

ごあんない

長門市議会では、フェイスブックページにも、議会の情報をアップしています。是非ご利用ください。



←長門市議会フェイスブックページQRコード

シャッターチャンス 今月の一枚



夏は海に出かけたくになります。大海原をヨットでクルージング。そう言えば「マーメイド号」で世界一周単独航海を3度も成功された堀江謙一さんという冒険家のことが記憶にあります。大海原を1人で航海をする。寂しさや不安は計り知れないと思いますが、同時に勇気や自然への畏敬の念を持つ。私達は人生と言う荒海を乗り越えなければなりません。

あわりに 編集後記

▶最近、気になる事があります。イギリスの欧州連合離脱の是非を問う国民投票です。直前の予想では残留派が多いとの話でしたが、蓋を開けてみると離脱派が僅差で勝利。世界が驚きと共にパンドラの箱を開けたのではないかと思ったのは私だけでしょうか。円高株安となる

など経済への影響は計り知れず、欧州の緊張緩和が崩れるのではないかと将来が不安になります。今後の成り行きを見守らなければなりません。一国の投票結果が世界を新しい道へと進むのではと、あらためて「民主主義とは何か」考える機会となりました。

ながと市議会だより
発行/山口県長門市議会
編集/議会だより特別委員会

委員長	岩藤 睦子
副委員長	末永 卓也
委員	大草 博輝
	林 哲也
	重村 法弘
	吉津 弘之